



保育園送迎時のアクセス環境についての研究



駐



車



禁



止



1. 論文構成

- 1章 はじめに
- 1-1 背景と目的
- 1-2 既往研究
- 2章 研究方法
- 2-1 予備調査
- 3章 本調査
- 3-1 アンケート調査
- 3-2 現地調査
- 4章 名古屋市内の保育園のアクセス環境の現状
- 4-1 分析方法
- 4-2 保育園別調査結果
- 5章 終わりに

2. 背景と目的

近年、既婚女性の就業率は上がり、共働き世帯が増えるなか保育園は多くの家庭が利用するようになってきている。仕事の前後に保育園へ毎日子どもを送迎することは、楽なことではない。もし保育園の立地が交通至便なところでなかったら、送迎は毎日のことなので親にとっては大きな負担である。待機児童問題や「保活」といった言葉があるように、保育園に入園させることの大変さはよく知られている。アクセス環境も保育園児の親にとって重要であるが、それは広く認知されているとはいえない。

そこで本研究は、名古屋市内の公立保育園へのアクセス環境を調査し、問題点を明らかにすることを目的とする。

3. 既往研究

本研究に着手するにあたって同種もしくは関連する既往研究があるかどうか検索を行った。学術論文に関しては日本建築学会と CiNii、商業出版物に関しては Amazon の検索サービスを利用した。検索キーワードは研究に関する以下のワードを選び、組み合わせて検索した（2017年7月25日現在）。

「保育園」、「送迎」、「保育所」、「子ども」、「アクセス」

上記の検索結果を以下に記す。

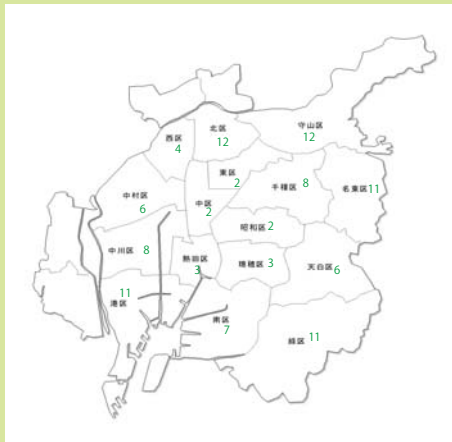
- ・「保育園 送迎」・・・10件
- ・「保育所 送迎」・・・23件
- ・「子ども 送迎」・・・26件
- ・「保育所 アクセス」・・・2件
- ・「保育園 アクセス」・・・0件

結果、本研究の内容と重複するもの、類似するものはなかった。

4. 方法

- ①利用可能な送迎手段について
- ②坂道の有無
- ③駐輪場の有無
- ④駐車場の数
- ⑤路上駐車の可能性
- ⑥駐車可能なスーパー・コンビニの有無
- ⑦バス停から保育園までの距離
- ⑧地下鉄から保育園までの距離

以上8つの項目について現地調査を行った。108園を全て歩いてアクセス環境、周辺環境、コインパーキングの有無などを確認し、写真撮影も行った。



【図1】区別名古屋市内公立保育園数

5. 調査結果と考察

【表1】点数のつけ方

加点	内容
0点	・徒歩10分(60m/分)圏外の地下鉄、バス停は利用不可とみなし加点しない。
1点	・送迎手段(徒歩、自転車、車、バス、地下鉄)が利用可能である。 ・地下鉄駅またはバス停の駅が徒歩5分以上10分以内の場所にある。 ・駐輪場がある。
2点	・坂道がない ・地下鉄の駅が徒歩5分圏内である。 ・バス停が徒歩5分圏内にある(ただし、通勤時の時間帯7時~9時の1時間辺りのバスの本数が3本以上とする)。 ・駐車場がある(駐車場に3台以上スペースがある場合さらに2点加点する)。 ・スーパー・コンビニが近くにあり、駐車が可能である。

【表2】調査結果

- ① 何らかの公共交通が利用できる…75%
- ② バスが利用できる…67%
- ③ 地下鉄が利用できる…21%
- ④ 坂道が多い…16%
- ⑤ 駐輪場がある…9%
- ⑥ 駐車場がある…13%
- ⑦ 路上駐車の可能性…64%
- ⑧ 駐車可能なスーパー・コンビニがある…70%
- ⑨ バス停との距離が徒歩5分以内であり、送迎に利用するのに適しているもの…47%
- ⑩ 地下鉄駅との距離が徒歩5分以内であるもの…6%
- ⑪ 市営住宅など団地の敷地内にある保育園…20%

※1~2時間に1本程度しか通っておらず、送迎に利用するのが困難な場所は加点対象からはずす。



路



上



駐



車





駐



車



場



有



総合ランキング1位 15点 (20点満点) 港保育園



送迎用の広い駐車場が保育園に隣接していることや、公共交通が利用可能であるため送迎負担は比較的軽い。

総合ランキング最下位 3点 (20点満点) 東丘保育園



送迎に利用できる公共交通がなく、路上駐車も困難な地域である。コインパーキングは徒歩5分圏内には1つのみである。



駐



車



場



無



総合平均点 10点 (20点満点) 尾上保育園



送迎に利用できる公共交通が徒歩10分以内にあることやコインパーキングなどが比較的多いため、車の送迎が可能である。

車アクセスランキング1位 14点 (20点満点) 牧野原保育園



送迎用の駐車場(6台)が保育園に隣接している。公共交通は利用不可であるがコインパーキングがあるため駐車場の確保がしやすい。

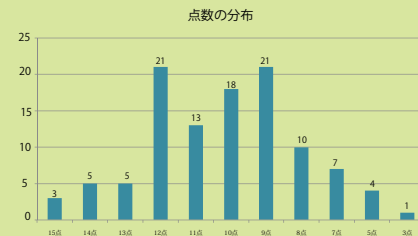
【表3】 区別ランキング

順位	区	点数(平均)	保育園数
1	中区	14.5点	2
2	中村区	12点	6
3	港区	11.55点	11
4	昭和区	11点	2
5	天白区	10.83点	6
6	千種区	10.75点	8
7	熱田区	10.67点	3
8	瑞穂区	10.33点	3
9	西区	10.25点	4
10	北区	10点	12
11	名東区	9.818点	11
12	南区	9.429点	7
13	緑区	9.364点	11
14	中川区	9点	8
15	瑞穂区	8.833点	3
16	東区	8点	2

区別のランキング

送迎負担が少ないと考えられる園ほど点数は高い。中区や中村区等、名古屋の中心に近い公共交通の発達した地域の点数が高くなっている。港区は、広い駐車場が保育園のためにあることや、バス停からの距離が5分以内である保育園が多かったため点数が高い。一番送迎負担が軽い区と負担が大きい区では点数に6.5点の差がある。20点満点中、平均点が10点以下の区が半数以上だった【表3】【表4】。

【表4】 点数の分布



調査を進めるうちに気づいたこと

- ・名古屋市公立保育園全108園中22園が市営住宅などの団地の敷地内にある。
→しかし、市営住宅に入居するには、厳しい条件(所得は原則として入居者全員の所得の合計が月額158,000円以下であること等)がある。また、名古屋市の市営住宅の間取りは50~70平米程度の広さであり、70平米であれば、家族4人で住むには充分であるが、50平米の場合、少し狭い。
- ・バス停が徒歩10分圏内にある保育園は全体の67%だが1~2時間に1本程度しか通っておらず、送迎に利用するのが困難な地域が多くあった。
- ・保育園周辺は路上駐車禁止の貼り紙が多い。
- ・保育園前の道路に貼り紙で路上駐車スペースを設けている保育園があった。それ以外の場所には止めないように注意を呼びかけており、近隣住民に迷惑がかからないように工夫がされていた【写真1】【写真2】。



【写真1】 「エリア掲示板の前まで駐車スペースとしてご利用ください」



【写真2】 「1台目ここまで←」「2台目こちら→」

6. 終わりに

今日対象とした保育園のうち25%は、公共交通機関を送迎に利用することが困難なため、徒歩、自転車、車を利用することが必要であった。しかし、駐車場が設置されていないので保護者は、駐車できる場所を確保してはならない。こうした可視化されていない負担は減らされるべきである。保育園設置時には送迎負担にも配慮が必要と考える。